

兵庫県立大学先端医工学研究センター 第7回学術交流講演会

The 7th AMEC Research Seminar

2017年6月5日(月) 18:00～19:00 姫路ターミナルスクエア2階会議室
JUNE 5, 2017, 0600PM-0700PM@HIMEJI TERMINAL SQUARE BLDG. 2F SEMINAR ROOM

講師

坂下 玲子 (さかした れいこ) 先生

兵庫県立大学 看護学部 教授



看護の技を測る

看護ケアの質に関する研究は、国内では1987年に聖路加看護大学を中心に行われた看護QA(質保証)研究班による患者、看護師双方からの評価ツールの開発(研究代表者:南裕子)が最初であり、その後、1993年度から5年間にわたる「看護ケアの質の評価基準に関する研究」(主任研究者:片田範子)が行われた。方法として、経験3年以上の看護師64人より結果がよかった実践事例を語ってもらい、その中から重要な9つの要素を抽出した。それをもとに看護ケアの質において重要な要素の6領域の評価指標が開発され、構造、過程、成果の3つの側面において評価する方法(第三者評価)が開発された(上泉、2010)。今回紹介するツールは、その評価ツールを、より多くの病棟において使用するために、自己評価ツールとして開発したものである。6領域とは、患者への接近、内なる力を強める、家族(重要他者)の絆を強める、直接ケア、場をつくる、インシデントを防ぐ領域である。研究者らは得られたデータから分析を行い、皆様の病棟の現状を分析しどのような領域の看護がよくできているのか、弱い看護領域はどこであるのかを示し、よりよい看護を提供するには看護ケアをどのように改善したらよいのかを具体的に示唆した改善提案を入れたりコメントーションをクライアントに返却している。当日は、質評価の他に、工学と看護学の連携の可能性を探りたい。

主催

兵庫県立大学先端医工学研究センター

Language(言語):

Japanese(日本語)

参加申込先(先着順):

兵庫県立大学先端医工学研究センター (info@amec-hyogo.org)

お名前、ご所属、交流会参加の有無を **5月29日(月)** までにご連絡ください